

ぽかぽか 夏号

三川町公民館図書室だより

2023.8.1



たくさんのご利用をお待ちしております 新着作品案内



『真珠とダイヤモンド 上・下』
桐野夏生：著

1986年春。二人の女が福岡の証券会社で出会った。一人は短大卒の小島佳那、もう一人は高卒の伊東水矢子。貧しい家庭に生まれ育った二人は、それぞれ2年後に東京に出ていく夢を温めていた。野心を隠さず、なりふり構わずふるまう同期、望月昭平に見込まれた佳那は、ある出来事を契機に彼と結託し、マネーゲームの渦に身を投じていく。



『成瀬は天下を取りにいく』
宮島未奈：著



『はるか、プレーメン』
重松清：著



『ぼんぼん彩句』
宮部みゆき：著



『明日へのペダル』
熊谷達也：著



『四十歳、未婚出産』
垣谷美雨：著



『月と散文』
又吉直樹：著



『102歳、一人暮らし』
石井哲代：著



『88歳ひとり暮らしの元気をつくる台所』
多良美智子：著



『一人暮らし』
曾野綾子：著



『仕事と人生に効く 教養としての紅茶』
藤枝理子：著



『Another side of 辻村深月』
辻村深月：著



『名探偵のままでいて』
小西マサテル：著



『トランパー 横浜みなとみらい署暴対係』
今野敏：著

商品を受け取るも代金を支払わない「取り込み詐欺」。暴力団の懐を肥やす資金源を断ち切れ！管内の伊知田組が取り込み詐欺に関係しているとの情報が。だがガサ入れは空振りに終わった。誰が情報を洩らしたのか!? “ハマの用心棒” 諸橋が倉庫街を駆ける！

「横浜みなとみらい署暴対係」シリーズ第七弾！



『行きつ戻りつ死ぬまで思案中』
垣谷美雨：著

人生はあっという間と言うけれど、走馬灯のように映し出される色とりどりの絵のごとく、たくさんの喜怒哀楽があり、これまで生きてきた年月は、実は長いのだとこのエッセイは教えてくれる。70篇どれも「よくぞ言ってくれた！」と思わず膝を打つこと必至！垣谷節が炸裂する著者初のエッセイ集。



『ロウ・アンド・ロウ』
村山由佳：著



『署長シンドローム』
今野敏：著



『殺戮の狂詩曲』
中山七里：著



『オール・ノット』
楠木麻子：著



『くもをさがす』
西加奈子：著



『合理的にあり得ない2』
柚月裕子：著



夏におすすめ！
新着えほん&児童書

大人気！『さかいさちえ』のえほん入りました♪



『チムとタムのおからさがし』



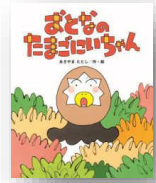
『ポコポコクリスマスクッキー』



『まじよねこマーニャまほうのゆびわ』



『へんしんようかい』
あきやまだし：作



『おとなのたまごにいちゃん』
あきやまだし：作



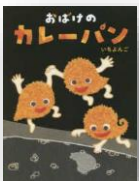
『ほくのトリセツ』
のぶみ：作



『プレゼントどっち?』
やなせたかし：原作



『あかちゃんのどーこだどこだ?』
リード、カミラ：作



『おばけのカレーパン』
いちよんご：作



『はけたよずぼんぼん』
minchi：作



『はらぺこおおかみのデコとポコ』
みやにしたつや：作



『ラニーちゃんとたんじょうびやさん』
タロアウト：作



『パンダのおさじとフライパンダ』
柴田ケイコ：作



『わたしがはやくわるわけはね...』
くすのきしげのり：作



『さよならジャンボ』
やなせたかし：作

王様と3人の国民だけの小さな国。そこへ、そうのジャンボとそう使いのブルーがやってきて、みんな楽しく暮らしていました。しかしある日、東と西の国の戦争に巻き込まれてしまい、幸せな暮らしは変わっていきました。国民の命を守るため、王様はジャンボを殺そうとするのですが…
平和の尊さと命の重さについて問う、時を超えたメッセージ。

人気作家『ヨシタケシンスケ』の
楽しく学べる児童書そろえました♪



『しかもフタが無い』



『メメンとモリ』



『一年一組せんせいあのね』



『日々憶測』



『ぱんですよ』
大森裕子：作



『13かいにはきょうりゅうがいる』
ブラッドフォード、ウェイド：作



『よくみると...さらに!』
Shimizu：作



『カップねこ』
塚本やすし作



『おきにいのしろいドレスをきてレストランにいきました』
高島那生：作



『すうじのうた』
北村人：作